



「楽しい読書」を進めるために

昨日、岡崎市の図書館指導員を務める六ツ美北部小学校の近藤秀子先生にご来校いただいて、3-3、4-2、5-1の3学級が、読書指導に関わる研究授業を行いました。3-3は、「思わず本が読んでみたくなるような図書室のひみつ」を各自で探し、見つけたことについて話し合いました。4-2は、「日本十進分類表」を活用して、図書室で自分の目当ての本を探すことに挑戦しました。5-1は、「雨ニモマケズ」の詩を始め、多くの著名な作品で知られる宮澤賢治が、その作品を通して読者にどんな思いを伝えようとしていたのかについて討論しました。どの授業も、子供たちが積極的に学びに向かう姿が見られ、内容の濃い充実した1時間となりました。

また、5-1の研究授業は、全教職員が子供たちの学びの様子を参観しました。そして、子供たちが下校した後、今後の指導に生かすために、本時の授業において、どの場面の指導をどのように改善すると、子供が授業のねらいをより良く達成できるのかについて協議しました。さらに、協議の後、指導員の近藤先生から、子供が自ら本を手取る効果的な本の展示方法などについて教えていただきました。

昨年度の「学校生活アンケート」において、「読書は好きである」の項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した子供は67%に留まりました。コロナ禍で、図書室の利用が積極的に行えなかったという側面もありますが、これは少し寂しい結果でした。今年度は、子供がより楽しく積極的に本に親しめるよう、全教職員で読書指導を工夫・改善していきたいと思えます。



▲3-3 図書室のひみつについて話し合う



▲4-2 日本十進分類表を活用して本を探す



▲5-1 宮澤賢治の思いについて討論する



運動会下見の会 ～より良い演技を目指して～

運動会まであと10日となった18日(水)に、下見の会を行いました。低・中・高学年のそれぞれの練習は、順調に進んでいると感じました。あとは残された時間の中で、どこまで演技の質を高められるかが勝負です。男川っ子なら、きっと今回アドバイスしたことをきっちりやり遂げてくれると大いに期待しています。



▲低学年の演技 笑顔で元気に踊れるかな？